

東日本大震災 一人ひとりの生活再建・人間復興こそ



被災者支援は、地震発生後1ヵ月たっても避難している人が15万人に上るなど、課題山積です。復興の名の下に企業への支援に偏るのではなく、住居や雇用、健康、教育などに目配りした一人ひとりの生活再建・人間復興が必要です。

原発をいったん止め緊急安全点検を



↑避難所で被災者から要望などを聞く福島党首(4月6日、福島市)。
←3月24日に続いて、自転車4台を含む第2便の支援物資を発送。
↓福島原発の事故をきっかけに「原発の見直し」を求める声が広がっています(3月27日)。

福島原発事故の放射能漏れは1ヵ月を超え、期間は旧ソ連チェルノブイリ事故を上回っています。想定を超える揺れや津波を受け複数の原子炉が冷やせなくなるという、これまでありえないとされてきたことが起きました。すべての原子力施設をいったん止め、今回の地震と津波の大きさを踏まえた緊急安全点検を行なうべきです。その上で、老朽化などで危険性が高いと判断されたものは即時運転停止を決め、廃炉にしなければなりません。2030年までに原発14基を新・増設し、原子力発電の割合を50%に引き上げるという政府の新「エネルギー基本計画」は見直すべきです。

救援募金にご協力を

振込金融機関
中央労働金庫 霞が関支店
口座名
社民党災害救援基金
普通口座 1543988

※全国の労働金庫の各支店間で振り込みを行なう場合、振込手数料が免除となります(当面、7月末日まで)。ただし、振込用紙を使用し、振込人の名前の後に「義援金」と漢字で記入してください。なお、ATM(現金自動出入機)による振り込みの場合は手数料が必要となります。



THE SHAKAI SHIMPO

2011 5◆6 (金曜日) 号外

発行所

社会民主党全国連合機関紙宣伝局
週刊(水曜日発行)

〒100-8909 東京千代田区永田町1-8-1
電話代表03(3592)7515・振替00140-1-3203

●定価180円●1ヵ月700円●送料160円

社会新報